

藤塚小だより

学校教育目標：生きる力にあふれる子

～「自分らしさを発揮する力」の育成を目指して～

令和4年2月25日
横浜市立藤塚小学校
学校だより 3月号
TEL (351) 2314
FAX (351) 7349

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/fujizuka/>



ありがとう

校長 藤田 陽子

今日も音楽室から、6年生の合奏練習の音が聴こえてきます。6年生が小学校生活最後の活動として取り組んでいる合奏のメロディーです。

6年生は、「今までお世話になった人々に自分たちの成長や感謝を伝えたい」という思いをもち、活動の準備を始めました。その活動の一つが合奏であり、そのために選んだ曲が「Alexandros」の『ワタリドリ』でした。6年生はこの1年間、この曲と共に学年目標を達成してきたのです。

自分のパートを演奏できるよう、何回も同じフレーズを繰り返す様子が音楽室から長い期間聴こえ、やがて全体練習が始まりました。最初は各パートの音を「つなげた」という印象だったものが、練習を重ねるにつれ、リズムやハーモニーが「合ってきた」ように聴こえ、ついに「一つになった」ように伝わってきました。音楽室の様子を見に行くと、張りつめた緊張感の中で、息をつめて曲の始まりを合わせ、互いの音やリズムを意識しながら一人ひとりが演奏している姿がありました。その演奏から、そしてその表情から、皆で気持ちを合わせて表現したいと願う学年目標「ワタリドリ」への思いや演奏を届ける人々への感謝の思いが伝わり、胸にじんと響いてくるようでした。

1年生から5年生までの児童もまた、6年生に支えられた学校生活を振り返り、感謝の思いを伝えようと準備を進めています。来年度のリーダーである5年生を中心に、全児童が6年生への思いを表現できるよう活動に取り組んでいます。

昨年に続き、絆活動や異学年交流の実施が制限されるなど、直接話をしたり、実際に触れ合ったりする活動が難しい日々が続きました。しかし、そのような状況であっても、6年生が学校生活を支える様々な活動を担ってきたことやスポーツフェスティバル実現への取組、体育実技発表会に向けた素晴らしい努力や演技を下級生はしっかりと見、感じていました。6年生もまた、下級生からの感謝の手紙や6年生の活動に対する尊敬の気持ちを表す言葉を受け取り、自信を深める場面がありました。

残念ながら今年度の卒業式も6年生の児童と保護者の皆様、そして教職員のみが参加する式となります。全校児童で6年生の晴れの姿を当日見送ることはできません。しかしだからこそ、卒業に向けての期間を、下級生は6年生からの「ありがとう」を受け取り、下級生、そして藤塚小学校の全教職員からは6年生への感謝の思いを伝えその巣立ちにエールを送る、そんな「ありがとう」の交流時間としていきたいと願います。

今年度も本校の教育活動にあたたかいご支援をいただきました保護者の皆様、そして地域の皆様、1年間、本当にありがとうございました。

